



はにしのこ

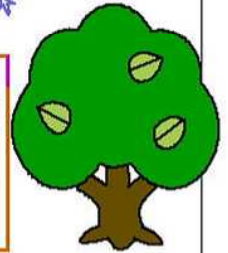


教育目標
豊かに学び、共に未来のふるさとを拓く「はにしのこ」の育成
 〈徳〉 みんなと仲良くできる子ども
 〈知〉 よく考えて勉強する子ども
 〈体〉 心も体も強い子ども

冬休み号

<実り多い2学期でした！>

臨海自然教室、郡音楽祭、運動会、社会見学、持久走記録会等、多くの行事や体験学習をとおして、子どもたちがまた、「自分の幹」を太く大きくしました。そして、一人ひとりが自分のよさを大いに発揮し、より「自分らしい木」に成長した実りある2学期でした。



12/5(金)民話の世界へ



民話ふくべの会
〈須藤さん〉

「むかしむかし、あるところにね。一人の男の人がいたんだって…ね。」と須藤さん独特のやわらかい語り口が、寒い朝のひとつき、みんなの心を温かくしてくれました。「三本の針」のお話には、はらはらどきどきしたり、「しみつたれ」の話にクスクス笑ったり、とても楽しかったです。…「梅干し」をじっと見て、すっぱそうだな…とつばがでてきたところでご飯をかき込むというのは、なるほど正真正銘の「しみつたれ」ですね。



12/10(水)人権集会

12/8(月)～12/12(金)を「人権週間」とし、「みんなが互いを思いやって、楽しく明るい毎日を通そう。」と改めて考える機会としました。子どもたちは、家の人と一緒に「人権標語」を作ったり、各学級では道徳の授業やDVD視聴等をとおしたりして、学年に応じての学びを行いました。

また、12/10(水)の「人権集会」では、6年生が「友達」という詩を紹介したり、楽しい仲間作りのゲームをしたりして、「みんなで仲良くすることの嬉しさ・楽しさ」を確かめました。校長からは、※ドロシー・ロー・ノルドさんの「いちばん大切なこと」という詩を紹介しました。「とびきりすてきな自分になるうね。」というメッセージが子どもたちの心にやさしく響いたと思います。「周りの人を大切にすることは、自分を大切にすること」です。子どもたちが、これからも自分を取り囲む多くのものに感謝の気持ちを忘れず、「とびきりすてきな自分」になるようさらに自分を磨いてほしいと思います。 ※ベストセラー「子どもが育つ魔法の言葉」の作者

<6年生・詩「友達」>



<仲良くゲーム！>

12/14(日)「どんど焼き」竹切り・やぐら建て

「どんど焼き」の「やぐら」が見事に建ちました。寒い中、早朝からの竹切り等の作業でしたが、保護者の皆様の一致団結の力で、今年も立派な「やぐら」ができました。大変お疲れ様でした。1月11日の「どんど焼き」、当日が楽しみです。



お父さんがんぼる！



今週の俳句

12月に紹介したものです。

今しばし
しばしと被るふとんかな
(小林 一茶)

こがらしや
海に夕日を吹き落とす
(夏目 漱石)

スケートの
ひも結ぶ間もはやりつつ
(山口 誓子)

雪だるま
星のおしゃべりべちゃくちやと
(松本たかし)

全校合奏・次年度の曲決まる

今年度は、「千と千尋の神隠し」の曲に一生懸命に取り組み、運動会でも披露して大好評を博しました。そして、いよいよ12月から次年度に向けての準備が始まりました。曲目は候補曲4曲の中から全児童が投票で選んだ「アフリカンシンフォニー」。打楽器のリズムがとても軽快な曲です。楽器の担当も決まり、3学期からはパート練習に入ります。次年度もまた楽しみです。

論語検定・みんながんばる!

今年度、第1回目の論語検定が12/15(月)~19(金)の1週間行われました。

学年ごとに、朝のさわやかタイムの時間や昼休みに校長室にやってきて一人ずつ発表しました。どの子どもよく練習したおかげでしっかりと暗唱できました。

2月にもう一度確かめの検定を行います。これからも、いつも論語の教えを心にとめておきましょう。

吐く息の 白さの中に 子の笑顔

楽しい冬休みを

「もういくつ寝るとお正月...♪」と今の子はお正月を指折り数えて待つというほどのことはないかもしれませんが、それでも子どもたちにとって、お正月を挟んだ冬休みは、心躍るものがあるでしょう。

2週間近くのお休みとなりますが、この冬休みにしかできないことを子どもたちも御家族の皆さんと一緒に体験し、楽しく過ごしてほしいと思っています。

その中でもぜひ、「日本のよき伝統や風習にふれ、その意味やよさを感じてほしい。」と願っています。

「暮れの大掃除」なども子どもたちにも何か一つ「ここをがんばってきれいにしてね。」とまかせてみたり、きれいになった玄関に子どもたちに作ってもらった折り鶴を飾ったりと、子どもたちにも家族の一員としての役割を与えてみてはどうでしょうか。そして、「ありがとう。助かったよ。」との一言を忘れずに添えてください。

私も小学生の頃、母が昆布巻きを作る手伝いをよくしたものです。拍子切りにした人参と牛蒡しか入れない我が家流の昆布巻きですが、昆布のぬめりでなかなか思うように巻けず、おまけに蝶々結びが上手くできないので、かんぴょうがいつも縦結びになってしまい、何度もやり直したものです。でも、そんな不格好な昆布巻きを母は誉めてくれ、一緒に煮てくれました。おかしい形の昆布巻きは皿に盛るとすぐにわかりましたが、自分で巻いたものは格別の味がしてとても嬉しかったものです。今でも、毎年この時期になると一緒に昆布巻きを作った母の笑顔が懐かしく思い出されます。

「どんど焼き」

1月11日(日) 午後5時 点火

どうぞ、よいお年を お迎えください。